



令和5年度指定 高指第126号

# 金森 正有

生年／昭和42年 指定技術名／銅器・双型



つりがね

## 釣鐘

伝統的な双型鑄造技法による梵鐘づくりを祖父正一、父弘重より受け継ぐ希少な技術者である。削り中子技法による肉厚の調整や金属の配合による音色の追求に取り組んでいる。氏は原型造りから鑄造、仕上、着色までの一貫した製造技術を持っており、この鐘は真宗大谷派井波別院瑞泉寺に納められたもので、伝統的な造形を細部まで繊細に表現し、高い完成度を実現している。

平成25年作

素材・技法／錫、青銅・双型鑄物

寸法／高さ90cm×口径60cm

### 〔表彰・受賞歴〕

平成15年 高岡市伝統工芸産業優秀技術者表彰

### 〔経歴〕

昭和63年 高岡短期大学産業工芸学科金属工芸専攻(第一期生)卒業

平成元年 父弘重に師事し家業である梵鐘・半鐘造りに従事し、原型から鑄物、仕上、着色まで一貫した製造技術を習得

平成23年 父の業務を継承、現在に至る

令和5年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定